

## シラバス情報

授業方法	講義 ・ 実験 ・ 実習		
系 列	自動車工学		
科 目 名	自動車基礎		
必修・選択	必修科目 ・ 選択科目		
対象学科	一級自動車整備科・二級自動車整備科		
年次学期・曜日・時限	1年前期	・ 月曜日	・ 1・2時限あるいは3・4時限
時 限 数	24時限（中間及び期末試験を除く）		
担当教員名	脇屋敷 竜太（補助：西原 潤一）		
実務経験	有 ・ 無		
	国土交通省に認証された事業場において、保守・点検・分解・組立など自動車整備士としての経験を活かし、整備を行う上で必要となる基礎知識についての講義を実施する。		
授業の目的	自動車整備技術の習得に必要な機械要素や構造などの基礎知識を理解習得する。		
テキスト	① 三級自動車整備士（総合） ② 二級自動車整備士（総合）		
授 業 計 画			
授業回数	テーマ	内容・方法等	使用テキスト範囲
第1回	自動車の概要	自動車の定義や分類と概要と諸元についての講義する。	① p13～17
第2回	自動車図面の見方について	自動車に関わる機械製図の基礎知識について講義する。	② p379～388
第3回	自動車の構造について	自動車を構成する燃料とエンジンの構造や材料について講義する。	① p49～54
第4回	自動車の構造について	自動車を構成する動力伝達装置の構造や材料について講義する。	① p166～206 基礎抜粋
第5回	自動車の構造について	サスペンション、ブレーキ、ステアリング装置の構造や材料について講義する。	①207～287 基礎抜粋
第6回	自動車の構造について	自動車を構成する電気・灯火装置関係、ボデー、計器について講義する。	① p305～322 基礎抜粋
	中間試験	第6回までの授業内容に関する筆記試験	
第7回	自動車の機械要素について	ネジやベアリング、ギヤなどの部品と潤滑について講義する。	① p19～27
第8回	自動車の機械要素について	ネジやベアリング、ギヤなどの部品と潤滑について講義する。	① p19～27
第9回	自動車の機械要素について	ネジやベアリング、ギヤなどの部品と潤滑について講義する。	① p19～27

第 10 回	自動車の基礎的な原理や法則について	電気用図記号やオームの法則について。	① p 36～43
第 11 回	自動車の基礎的な原理や法則について	電気用図記号やオームの法則について。	① p 36～43
第 12 回	自動車基礎のまとめ	過去の内容の総復習を行う。	
	期末試験	第1回～第12回までの授業内容に関する筆記試験	
到達目標	自動車の基礎的な知識を身に着け、自動整備技術の基盤を作る。		
成績評価方法	平常点（小テスト、レポートやノートの提出とその評価、出席及び授業態度）、中間試験並びに期末試験を合算して行う。		
定期試験受験資格	開講された全時限に出席し、レポート・ノートの提出が完了している者。 欠席した時限がある場合は、補講も完了している者。		
成績評価基準	<p>成績評価は、期末試験の点数が40点以上を満足した上で、100点を満点とする整数について、次の割合で行う。</p> <p>中間試験の点数 30%</p> <p>期末試験の点数 40%</p> <p>平常点 30%</p> <p>上記の割合によって学期末の評点が60点以上である場合、以下によって評価する。</p> <p>60～69点 = 可、70～79点 = 良、80～89点 = 優、90点以上 = 秀</p> <p>60点未満の場合、再試験を行い、試験点のみで60点以上のとき履修を認定し、成績は60点 = 可とする。</p>		
成績評価できない場合の基準	全講義を終了時点の出席率が50%を満たしていない場合、又は、成績評価が60点未満の場合。		